

この資料には、ユニアデックス株式会社が保有する秘密情報が含まれています。利用、保管などの取り扱いにあたっては、十分にご注意願います。また、この資料に含まれる情報は、ユニアデックス株式会社の資産であり、他の目的に利用することはできません。

# ポストコロナの働き方による意識・行動の違いは？

～テレワーク、ハイブリッドワーク、オフィス勤務のセグメント別比較調査～

ユニアデックス株式会社  
未来サービス研究所

同じ未来を想うことから。

 UNIDEX



# 目次

---

調査背景・目的	...P2
調査概要	...P3
調査内容	...P4
属性	...P6
コミュニケーションについて	...P7
セキュリティについて	...P14
ワークライフバランスについて	...P20
考察	...P26

## 調査背景・目的

- ▶ テレワークとオフィス勤務を組み合わせることで働く場所や時間の柔軟性を高める「ハイブリッドワーク」への転換が加速しており、従業員の生産性や満足度向上につながることを期待されている。
- ▶ 今後のさらなる働き方改革に向けては、テレワーク主体の働き方、ハイブリッドワーク主体の働き方、オフィス勤務主体の働き方それぞれについて、実態を踏まえたうえでメリットやデメリットを比較していく必要がある。
- ▶ 本調査では、従業員をセグメント別（テレワーク・ハイブリッドワーク・オフィス勤務）に分類し、「コミュニケーション」「セキュリティ」「ワークライフバランス」の3つの側面についてそれぞれの意識や課題を分析した。

調査テーマ	働き方に関するセグメント別比較調査
調査手法	オンラインリサーチ
本調査対象条件	以下条件にて対象者を抽出 1. 性別 男性、女性 2. 年齢 20～69歳 3. 居住地 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県 4. 職業 会社員、会社役員、経営者
総回収数	1,660ss (バッファ回収分を含む)
回収割付と回収数	<p>【条件1】            テレワーク (リモートワーク・在宅勤務を含む) の実施状況</p> <p>1. ほぼ毎日テレワーク …割付500ss / 回収544ss / WB後538ss            2. テレワークと出社・オフィス勤務を併用 (= ハイブリッドワーク) …割付500ss / 回収544ss / WB後536ss            3. ほぼ毎日出社・オフィス勤務 …割付500ss / 回収572ss / WB後586ss</p> <p>【条件2】            年代</p> <p>1. 20代 …割付300ss / 回収321ss / WB後293ss            2. 30代 …割付300ss / 回収330ss / WB後324ss            3. 40代 …割付300ss / 回収334ss / WB後403ss            4. 50代 …割付300ss / 回収338ss / WB後362ss            5. 60代 …割付300ss / 回収337ss / WB後278ss</p>
調査時期	2022年7月5日 (火) ～7月8日 (金)
備考	報告書データは、対象の都県の年代別人口構成比に沿ってウェイトバック集計を実施。 ※総務省『住民基本台帳年齢階級別人口 (都道府県別・令和3年1月1日現在)』に基づく

# 調査内容

「コミュニケーション」、「セキュリティ」、「ワークライフバランス」について以下の質問項目に基づき調査を行った。

## Communication

1. 社内でのコミュニケーション手段
2. 社内での内容別（定例会議、雑談等）コミュニケーション頻度・満足度
3. 社内での対象者別（上司、部下等）コミュニケーション頻度・満足度
4. テレワークによる社内のコミュニケーション変化

## Security

1. セキュリティに関する社内規定の有無
2. セキュリティに関する危機意識の有無
3. セキュリティに関して不安に思うこと
4. セキュリティに関して対策していること

## Work-life balance

1. 現在の働き方満足度
2. 仕事と私生活の両立に対する満足度
3. 希望する出社バランス（テレワーク・出社）
4. 働く条件面に関する満足度
5. 生活内容別満足度

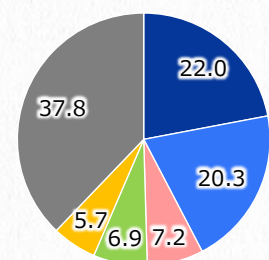
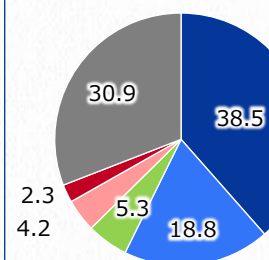
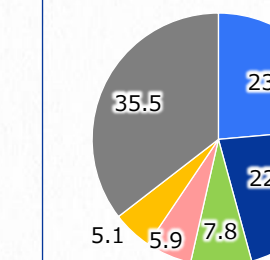
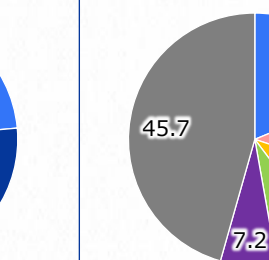
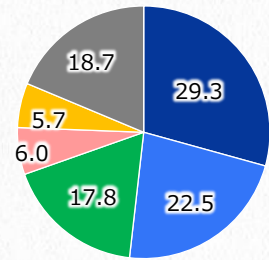
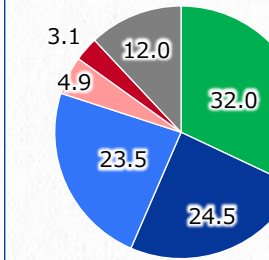
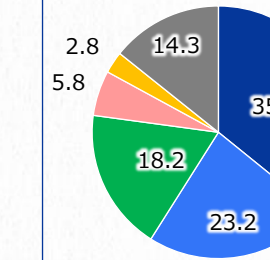
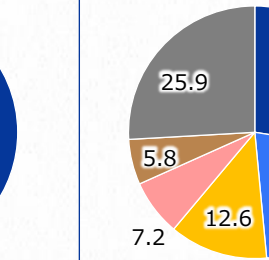
# 調査結果

---

# 【属性】業種・職種・労働時間

- ほぼ毎日テレワークの層では「情報通信業」の構成比が最も高いが、ほぼ毎日出社の層では「製造業」が最多
- ハイブリッドワークの層も「製造業」が最多だが「情報通信業」も僅差で、テレワーク・出社の中間的といえる
- ほぼ毎日出社の層では「サービス・販売系」の構成比が他セグメントよりも高い

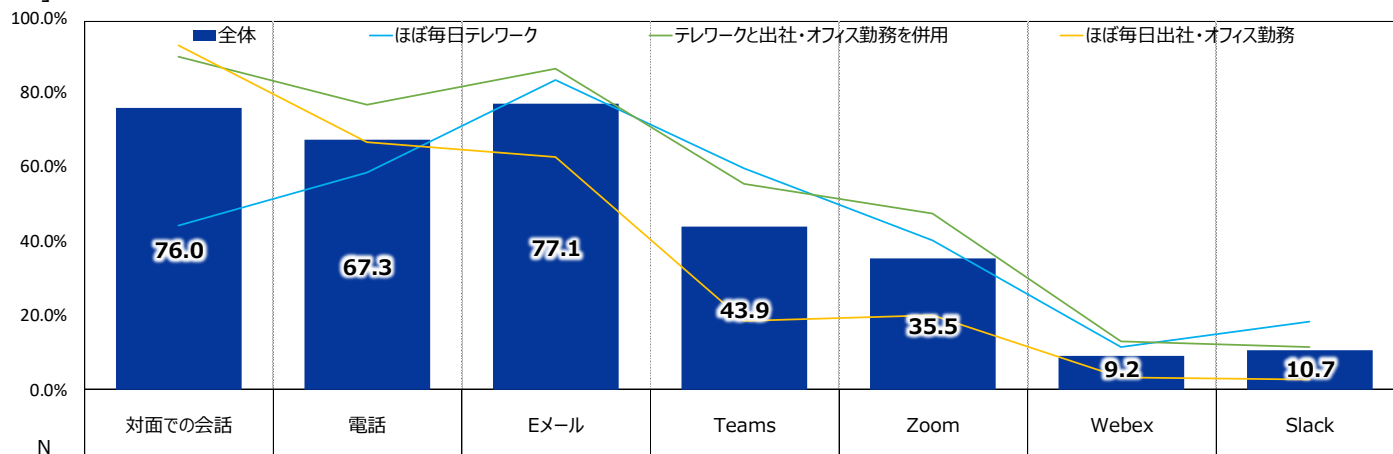
(単位：%)

セグメント 設問	全体	ほぼ毎日テレワーク	ハイブリッドワーク (テレワークと出社・オフィス勤務を併用)	ほぼ毎日出社
<b>勤務先の業種</b> ※各セグメントTOP5を抜粋し、6位以下は「その他」に合算  ※設問は以下19項目から選択 農業・林業・漁業・鉱業、情報通信業、建設業、製造業、電気・ガス・水道業、運輸・輸送業、流通業・卸売業・小売業、金融業(銀行または証券)・保険業、不動産業・物品賃貸業、宿泊業・飲食店、生活関連サービス業・娯楽業、教育業、医療・福祉、出版・印刷業、メディア・マスコミ、広告業、マーケットリサーチまたは調査業、商社、非営利団体またはNPO、その他	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報通信業</li> <li>■ 製造業</li> <li>■ 流通業・卸売業・小売業</li> <li>■ 金融業・保険業</li> <li>■ 建設業</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=1,660]</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報通信業</li> <li>■ 製造業</li> <li>■ 金融業・保険業</li> <li>■ 流通業・卸売業・小売業</li> <li>■ 商社</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=538]</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造業</li> <li>■ 情報通信業</li> <li>■ 金融業・保険業</li> <li>■ 流通業・卸売業・小売業</li> <li>■ 建設業</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=536]</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造業</li> <li>■ 流通業・卸売業・小売業</li> <li>■ 建設業</li> <li>■ 金融業・保険業</li> <li>■ 運輸・輸送業</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=586]</p>
<b>職種の系列</b> ※各セグメントTOP5を抜粋し、6位以下は「その他」に合算  ※設問は以下11項目から選択 営業・企画系、事務系、サービス・販売系、クリエイティブ系、技術系(ソフトウェア、ネットワーク)、技術系(電気、電子、機械)、技術系(建築、土木)、社内情報システム系、専門職、その他	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事務系</li> <li>■ 営業・企画系</li> <li>■ 技術系 (ソフトウェア、ネットワーク)</li> <li>■ 技術系 (電気、電子、機械)</li> <li>■ サービス・販売系</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=1,660]</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 技術系 (ソフトウェア、ネットワーク)</li> <li>■ 事務系</li> <li>■ 営業・企画系</li> <li>■ 技術系 (電気、電子、機械)</li> <li>■ 社内情報システム系</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=538]</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事務系</li> <li>■ 営業・企画系</li> <li>■ 技術系 (ソフトウェア、ネットワーク)</li> <li>■ 技術系 (電気、電子、機械)</li> <li>■ サービス・販売系</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=536]</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事務系</li> <li>■ 営業・企画系</li> <li>■ サービス・販売系</li> <li>■ 技術系 (電気、電子、機械)</li> <li>■ 専門職</li> <li>■ その他</li> </ul> <p>[N=586]</p>
<b>平均実労働時間</b> (1週間あたり)	<b>42.5時間 / 週</b>	<b>42.0時間 / 週</b>	<b>43.2時間 / 週</b>	<b>42.5時間 / 週</b>

# 【コミュニケーション】手段（利用しているもの全て）

- 利用しているもの全てでは、全体では「Eメール」77.1%が最多で、以降は「対面での会話」76.0%、「電話」67.3%が続く。
- 「ほぼ毎日テレワーク」では「Eメール」83.4%が最も多く、以降は「Teams」59.7%、「電話」58.6%となっている。
- 他方、「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」と「ほぼ毎日出社・オフィス勤務」は共に「対面での会話」が圧倒的である。
- 年代別では、20代と30代は 対面での会話>電話>Eメール の順である。一方で、50代と60代は Eメール>対面での会話>電話 となっており、高齢層ほどEメールの優先度が高い。

あなたは勤務先で社内コミュニケーションをとる際、どのような手段を用いていますか。利用しているものを全て、最も頻繁に利用しているものを1つ、お選びください。[MA, SA]



		N	対面での会話	電話	Eメール	Teams	Zoom	Webex	Slack
全体		1,660	76.0	67.3	77.1	43.9	35.5	9.2	10.7
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	44.2	58.6	83.4	59.7	40.2	11.6	18.4
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	536	89.7	76.7	86.5	55.5	47.6	13.1	11.5
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	586	92.8	66.7	62.7	18.7	20.2	3.4	2.8
年代	20代	293	69.8	57.9	64.0	42.6	34.2	12.4	16.4
	30代	324	75.7	66.7	74.4	41.9	34.6	11.8	15.8
	40代	403	73.0	68.7	80.6	48.7	35.6	5.8	9.7
	50代	362	81.3	75.2	83.6	50.9	36.5	11.7	6.8
	60代	278	80.5	65.7	80.3	31.4	36.6	4.4	5.1

※数表の色付けについて：各セグメントのうち、回答率が最も高いセルを赤、2番目に高いセルを黄色、3番目に高いセルを緑で強調しています。

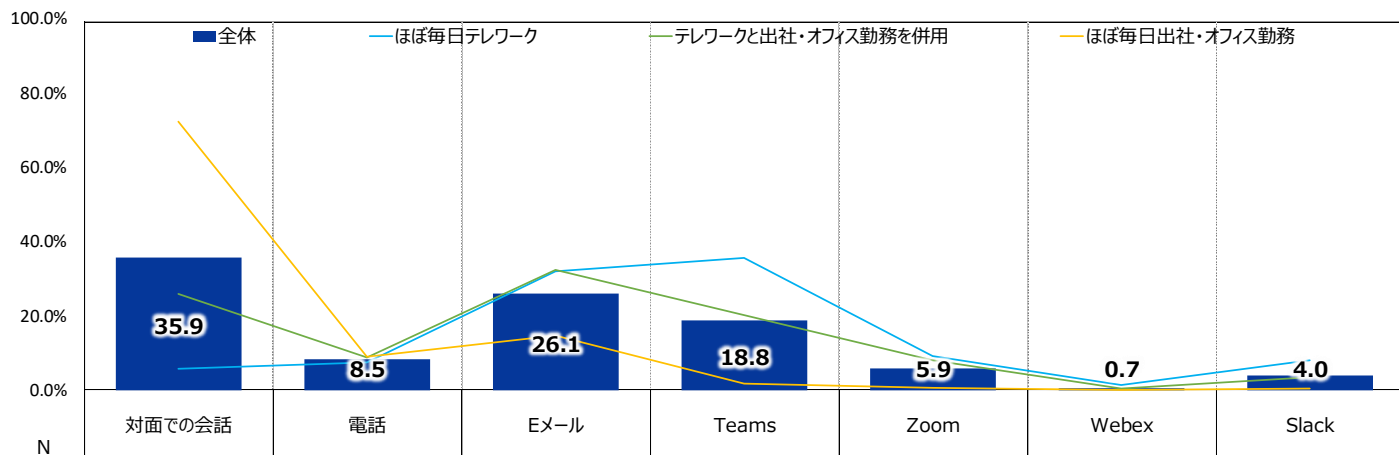
(単位：%)



# 【コミュニケーション】手段（最も頻繁に利用しているもの）

- 最も頻繁に利用している手段（単一選択）では、働き方のセグメントによる差が大きい。
- 「ほぼ毎日テレワーク」の上位回答は「Teams」35.8%、「Eメール」32.1%、「Zoom」9.2%となっている。
- 「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」では「Eメール」32.4%、「対面での会話」26.0%、「Teams」20.4%が続く。
- 「ほぼ毎日出社・オフィス勤務」では「対面での会話」72.4%、「Eメール」14.9%、「電話」9.1%となっている。

あなたは勤務先で社内コミュニケーションをとる際、どのような手段を用いていますか。利用しているものを全て、最も頻繁に利用しているものを1つ、お選びください。[MA, SA]



N		対面での会話	電話	Eメール	Teams	Zoom	Webex	Slack	
全体	1,660	35.9	8.5	26.1	18.8	5.9	0.7	4.0	
働き方	ほぼ毎日テレワーク	5.8	7.5	32.1	35.8	9.2	1.5	8.2	
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	26.0	8.9	32.4	20.4	8.2	0.5	3.6	
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	72.4	9.1	14.9	1.8	0.8	0.2	0.6	
	20代	293	35.3	9.0	17.4	22.7	7.6	2.4	5.5
年代	30代	324	37.7	8.7	20.9	19.7	6.7	0.6	5.7
	40代	403	33.3	8.8	27.4	18.7	6.7	0.0	5.0
	50代	362	33.7	6.6	30.3	22.0	4.6	0.9	2.0
	60代	278	40.8	9.8	34.0	9.8	3.8	0.0	1.7

※数表の色付けについて：各セグメントのうち、回答率が最も高いセルを赤、2番目に高いセルを黄色、3番目に高いセルを緑で強調しています。

(単位：%)

# 【コミュニケーション】満足度（内容別）

- 全体では、「定例的な打ち合わせ、会議」と「業務に関する連絡や相談」は満足度が6割超であるものの、「1on1の面談」、「業務に直接関係のない雑談」、「業務時間外の交流」の満足度は5割台となっている。中でも「業務時間外の交流」は満足度が低い傾向がみられる。
- セグメント別では「ほぼ毎日テレワーク」層が各項目に対して満足度が高く、「ほぼ毎日入社・オフィス勤務」層は相対的に満足度が低い。

あなたは勤務先で、以下の内容に関するコミュニケーションに満足していますか。[SAMT]

		定例的な打ち合わせ、 会議	業務に関する連絡や相談	1on1（1対1）の面談	業務に直接関係のない 雑談	業務時間外の交流 （飲み会など）
全体		<b>60.2</b> N=1,430	<b>61.3</b> N=1,521	<b>56.8</b> N=1,330	<b>56.2</b> N=1,355	<b>51.9</b> N=955
働き方	ほぼ毎日テレワーク	<b>66.3</b> N=482	<b>63.7</b> N=499	<b>58.3</b> N=433	<b>57.3</b> N=381	<b>51.3</b> N=269
	テレワークと入社・ オフィス勤務を併用	<b>60.3</b> N=516	<b>62.3</b> N=527	<b>57.0</b> N=496	<b>55.6</b> N=491	<b>52.2</b> N=371
	ほぼ毎日入社・ オフィス勤務	<b>53.2</b> N=432	<b>57.9</b> N=495	<b>54.7</b> N=400	<b>56.0</b> N=483	<b>52.1</b> N=315
年代	20代	<b>60.7</b> N=236	<b>64.6</b> N=252	<b>58.2</b> N=221	<b>58.8</b> N=224	<b>49.6</b> N=185
	30代	<b>62.8</b> N=274	<b>63.2</b> N=293	<b>59.1</b> N=253	<b>61.5</b> N=269	<b>56.3</b> N=196
	40代	<b>56.0</b> N=347	<b>56.8</b> N=371	<b>53.5</b> N=328	<b>50.5</b> N=334	<b>47.8</b> N=225
	50代	<b>57.0</b> N=331	<b>58.8</b> N=344	<b>56.0</b> N=301	<b>55.9</b> N=307	<b>53.4</b> N=189
	60代	<b>67.0</b> N=242	<b>65.9</b> N=262	<b>58.4</b> N=227	<b>56.3</b> N=221	<b>53.2</b> N=161

※設問形式は「満足している」「まあ満足している」「どちらともいえない」「やや不満である」「不満である」から単一選択  
チャートでは「満足している」「まあ満足している」を小計した割合を一覧で示している。

※チャートの色付けについて：各項目のうち、働き方と年代の各セグメントについて、回答率が最も高いものは数値を青、最も低いものは数値を赤としている。（以下の図表も同様）

（単位：％）

# 【コミュニケーション】満足度（対象者別）

- 全体的な満足度は6割前後となっており、同じ部署・チームの社員とのコミュニケーションの方が、他の部署・チームの社員とのコミュニケーションよりも満足度が高い傾向がみられる。
- 働き方のセグメント別では、「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」のハイブリッドワーク層が全項目において最も満足度が高い結果となっている。

あなたは勤務先で、以下の相手とのコミュニケーションに満足していますか。[SAMT]

		同じ部署・チームの上司や先輩社員など	同じ部署・チームの部下や後輩社員など	同じ部署・チームの職階が近い社員など	他の部署やチームの社員や同僚など
働き方	全体	61.2 N=1,445	61.5 N=1,293	60.9 N=1,320	58.0 N=1,313
	ほぼ毎日テレワーク	59.3 N=456	61.9 N=388	59.3 N=397	56.2 N=399
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	65.0 N=510	62.4 N=474	61.7 N=480	59.6 N=483
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	58.8 N=479	60.2 N=431	61.3 N=443	57.9 N=430
年代	20代	65.4 N=247	62.2 N=201	62.5 N=214	60.7 N=218
	30代	61.8 N=294	67.0 N=243	62.7 N=261	60.3 N=252
	40代	58.4 N=357	57.2 N=327	58.2 N=330	56.2 N=330
	50代	58.8 N=321	59.3 N=301	58.2 N=297	55.5 N=304
	60代	63.4 N=226	64.4 N=221	64.7 N=217	59.1 N=209

※設問形式は「満足している」「まあ満足している」「どちらともいえない」「やや不満である」「不満である」から単一選択チャートでは「満足している」「まあ満足している」を小計した割合を一覧で示している。

(単位：%)

# 【コミュニケーション】満足度（内容別・対象者別一覧）

- 内容別満足度に関して、「定例的な打ち合わせ、会議」ではほぼ毎日テレワーク層が66.3%、ハイブリッドワーク層が60.3%とテレワーク実施頻度が多くなるほど満足度が高い。他の項目でも同様の傾向がみられる。
- 対象者別満足度では、ハイブリッドワーク層が全ての相手に対する満足度がトップとなっている。

設問	セグメント	全体	ほぼ毎日テレワーク	ハイブリッドワーク (テレワークと出社・オフィス勤務を併用)	ほぼ毎日出社
内容別満足度			<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ほとんど満足度がトップ</li> <li>▶ 時間外のみ低満足度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 時間外の満足度は高い</li> <li>▶ 雑談の満足度は低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全般的に満足度が低い</li> </ul>
	定例的な打ち合わせ、会議	60.2% N=1,430	66.3% N=482	60.3% N=516	53.2% N=432
	業務に関する連絡や相談	61.3% N=1,521	63.7% N=499	62.3% N=527	57.9% N=495
	1on1の面談	56.8% N=1,330	58.3% N=433	57.0% N=496	54.7% N=400
	業務に直接関係のない雑談	56.2% N=1,355	57.3% N=381	55.6% N=491	56.0% N=483
	業務時間外の交流（飲み会など）	51.9% N=955	51.3% N=269	52.2% N=371	52.1% N=315
対象者別満足度			<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 職階が近い、または他の部署の満足度が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全ての相手に対する満足度がトップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 同じ部署・チームでの満足度が低い</li> </ul>
	同じ部署・チームの上司や先輩社員など	61.2% N=1,445	59.3% N=456	65.0% N=510	58.8% N=479
	同じ部署・チームの部下や後輩社員など	61.5% N=1,293	61.9% N=388	62.4% N=474	60.2% N=431
	同じ部署・チームの職階が近い社員など	60.9% N=1,320	59.3% N=397	61.7% N=480	61.3% N=443
	他の部署やチームの社員や同僚など	58.0% N=1,313	56.2% N=399	59.6% N=483	57.9% N=430

# 【コミュニケーション】頻度（内容別・対象者別一覧）

- 内容別では、「定例的な打ち合わせ、会議」など業務関連の項目は、テレワークを実施している層の方が実施機会・頻度が高い傾向がみられる。一方「業務に直接関係のない雑談」では、ほぼ毎日出社の層は「1日1回以上」が4割超にのぼる。
- 対象者別では、**出社頻度が高いセグメントほど「1日1回以上」の割合が高い**。だが「該当するコミュニケーションは無い」の回答率ではハイブリッドワーク層が他の層を大きく下回っており、**コミュニケーションをとっている割合はハイブリッドワーク層の方が高い**といえる。

- あなたは勤務先で、以下の内容についてどのくらいの頻度でコミュニケーションをとっていますか。[SAMT]
- あなたは勤務先で、以下の相手とどのくらいの頻度でコミュニケーションをとっていますか。[SAMT]

## 1 内容別頻度

- 1日1回以上
- 回数程度～週1回程度
- 月数程度～月1回程度
- 月1回未満
- 該当するコミュニケーションは無い

		N	定例的な打ち合わせ、 会議	業務に関する連絡や相談	1on1（1対1）の面談	業務に直接関係のない 雑談	業務時間外の交流 （飲み会など）
働き方	全体	1,660	20.1 43.9 15.9 13.9 6.2	37.2 40.5 10.1 8.4 3.8	18.8 21.5 33.9 19.9 6.0	29.0 31.5 11.6 9.5 18.4	7.8 14.4 32.5 42.5 2.8
	ほぼ毎日テレワーク	538	28.1 48.5 8.2 10.4 4.7	35.5 42.1 10.9 7.2 4.3	18.5 25.8 31.2 19.4 5.0	13.1 26.5 15.7 15.6 29.2	5.9 11.6 29.8 50.0 2.6
	テレワークと出社・ オフィス勤務を併用	536	20.7 56.8 16.0 3.8 2.7	39.4 46.7 10.3 1.7 1.9	26.4 26.0 35.5 7.4 4.6	27.0 43.1 14.0 8.4 7.5	12.3 19.7 34.1 30.9 3.1
	ほぼ毎日出社・ オフィス勤務	586	12.1 28.0 22.9 10.8 26.2	36.8 33.3 9.3 15.5 5.2	12.0 13.3 34.8 31.8 8.1	45.5 25.6 5.7 17.6 5.6	5.3 12.2 33.5 46.2 2.7

## 2 対象者別頻度

- 1日1回以上
- 回数程度～週1回程度
- 月数程度～月1回程度
- 月1回未満
- 該当するコミュニケーションは無い

		N	同じ部署・チームの上司や 先輩社員など	同じ部署・チームの部下や 後輩社員など	同じ部署・チームの職階が 近い社員など	他の部署やチームの社員 や同僚など
働き方	全体	1,660	35.9 38.3 9.0 13.0 3.8	31.7 34.1 8.8 22.1 3.2	26.7 36.3 11.8 20.5 4.7	17.6 37.5 16.5 7.6 20.9
	ほぼ毎日テレワーク	538	27.6 41.2 11.2 15.3 4.8	22.9 35.5 10.1 27.9 3.6	16.4 37.3 13.6 26.2 6.5	10.9 35.8 18.5 9.1 25.8
	テレワークと出社・ オフィス勤務を併用	536	34.6 49.0 8.7 4.9 2.8	29.2 47.4 9.3 11.6 2.5	25.2 48.7 12.7 10.4 2.9	14.4 49.0 20.5 9.8 6.3
	ほぼ毎日出社・ オフィス勤務	586	44.8 25.8 4.0 18.2 7.2	42.1 20.6 7.2 26.5 3.6	37.4 24.1 4.8 24.4 9.3	26.7 28.5 10.9 26.6 7.4

（単位：％）

# 【コミュニケーション】テレワークによる変化

- 「定例的な打ち合わせ、会議」、「業務に関する連絡や相談」、「1on1の面談」といった業務関連の内容に関しては、「変化はないと思う」が概ね半数程度を占める。次いで、項目やセグメントを問わず「減少したと思う」が2番目に高い構成比となっている。
- 「業務に直接関係のない雑談」、「業務時間外の交流」の業務外の内容では、全てのセグメントで「減少したと思う」が6割前後を占める。「増加したと思う」については1割に満たないケースがほとんどである。
- 総じて、業務関連のコミュニケーションでは変化なし～減少、業務外のコミュニケーションでは減少の傾向があるといえる。

直近でテレワークをしているとお答えの方へ伺います。テレワークの導入・実施によって社内のコミュニケーションは変化したと思いますか。  
[SAMT]

		N	定例的な打ち合わせ、 会議	業務に関する連絡や相談	1on1 (1対1) の面談	業務に直接関係のない 雑談	業務時間外の交流 (飲み会など)
			■ 増加したと思う ■ 減少したと思う ■ 変化はないと思う				
	全体	1,074	19.8 28.6 51.6	14.5 34.1 51.4	10.1 34.3 55.6	3.7 58.2 38.2	3.8 60.0 36.1
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	20.0 24.8 55.2	16.4 29.7 53.9	10.2 31.6 58.2	2.4 57.2 40.4	3.4 56.1 40.5
	テレワークと出社・ オフィス勤務を併用	536	19.7 32.3 48.0	12.5 38.6 48.8	10.0 37.0 53.1	5.0 59.1 35.9	4.3 64.0 31.7
	ほぼ毎日出社・ オフィス勤務	—	—	—	—	—	—
年代	20代	187	31.1 23.1 45.8	19.1 35.8 45.0	16.8 27.3 56.0	10.9 50.8 38.4	9.9 52.2 38.0
	30代	211	23.4 24.9 51.7	16.5 30.0 53.5	13.0 29.0 58.0	2.3 54.9 42.8	4.6 59.8 35.5
	40代	261	18.9 25.9 55.2	16.4 32.0 51.6	10.6 33.6 55.8	4.2 54.9 41.0	3.4 57.8 38.8
	50代	237	18.4 32.4 49.2	12.5 38.3 49.2	6.9 38.5 54.6	1.1 67.6 31.3	1.0 69.8 29.2
	60代	177	6.9 37.6 55.5	6.9 34.8 58.3	3.0 43.3 53.6	0.5 62.0 37.5	1.1 58.7 40.2

(単位：%)

# 【セキュリティ】 社内規定の有無

- 全体では、各項目ともに「ルールや規定がある」の回答率は概ね60%前後である。特に「社用のモバイルデバイス」が66.3%で最多となっている。以降は「業務に関するデータや情報」65.9%、「社内外の個人情報」64.5%が続く。
- 働き方のセグメントでは、「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」の層は全ての項目で回答率が最も高い。それに対して「ほぼ毎日テレワーク」の層は全項目で回答率が最も低い。「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」の層よりも軒並み20ポイント程度下回っている。

あなたの勤務先では、以下の情報資産の管理や利用等について、社内ルールや規定が定められていますか。[SAMT]

		N	社用のモバイルデバイス	業務に関する書類	業務に関するデータや情報	取引先や営業先の情報	社内外の個人情報	社内外のメールのやり取り	クラウドストレージの利用	webサイトの閲覧やURL遷移	ソフトウェア、アプリの利用
全体		1,660	66.3	64.4	65.9	61.9	64.5	59.7	59.3	55.7	61.5
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	71.4	65.9	71.3	65.9	69.9	64.7	66.7	62.1	67.5
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	536	76.2	74.2	73.3	70.8	73.5	68.7	67.3	63.9	71.5
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	586	52.7	54.1	54.0	50.0	51.2	47.0	45.1	42.2	47.0
年代	20代	293	61.7	56.1	56.5	56.4	57.2	53.1	50.3	48.8	54.8
	30代	324	63.9	56.8	61.5	54.0	58.3	54.1	53.2	50.5	55.9
	40代	403	61.6	63.7	65.1	60.7	62.3	58.0	57.4	55.2	60.7
	50代	362	77.8	76.6	77.0	73.7	76.2	71.2	72.1	65.8	71.7
	60代	278	65.9	67.3	67.5	63.0	67.3	60.6	61.8	56.6	63.2

※設問形式は「ルールや規定がある」「ルールや規定はない」「わからない」から単一選択で、以下のチャートでは「ルールや規定がある」の割合を一覧で示している。

(単位：%)

# 【セキュリティ】社内規定への危機意識

- いずれのセキュリティ関連項目でも「危機意識がある」という割合は3割弱となった。
- 働き方のセグメントでは、「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」の層は「社内外の個人情報」を除く全ての項目で回答率が最高となり、情報資産関連の規定への危機意識が高い。一方で「ほぼ毎日テレワーク」の層は全項目で回答率が最低である。
- 年代のセグメントでは、ほとんどの項目が30代、20代といった若年層の回答率が高い一方で、50代、60代の高齢層の回答率は低い傾向となっている。

あなたは、以下の情報資産の管理や利用等に関する社内ルールや規定の現状について、不安や危機意識を感じていますか。[SAMT]

		N	社用のモバイルデバイス	業務に関する書類	業務に関するデータや情報	取引先や営業先の情報	社内外の個人情報	社内外のメールのやり取り	クラウドストレージの利用	webサイトの閲覧やURL遷移	ソフトウェア、アプリの利用
全体		1,660	29.1	27.2	28.2	25.3	27.6	27.1	24.9	25.7	25.5
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	25.3	22.5	24.4	21.9	23.7	23.9	21.3	21.7	21.6
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	536	33.4	30.4	32.6	27.7	28.9	31.3	28.1	28.8	28.7
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	586	28.5	28.6	27.7	26.3	29.8	26.1	25.2	26.4	26.1
年代	20代	293	31.7	31.7	28.7	29.5	29.0	29.0	28.5	30.8	28.1
	30代	324	32.7	29.1	34.7	28.9	31.9	32.0	28.5	28.9	29.1
	40代	403	28.2	27.0	28.5	24.4	27.8	25.6	24.8	24.9	25.0
	50代	362	27.3	24.4	23.8	22.9	23.9	23.6	20.7	20.9	22.7
	60代	278	25.6	24.4	25.5	21.3	25.5	25.9	22.4	23.9	23.0

※設問形式は「とてもそう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」から単一選択で、以下のチャートでは「とてもそう思う」「まあそう思う」を小計した割合を一覧で示している。

(単位：%)



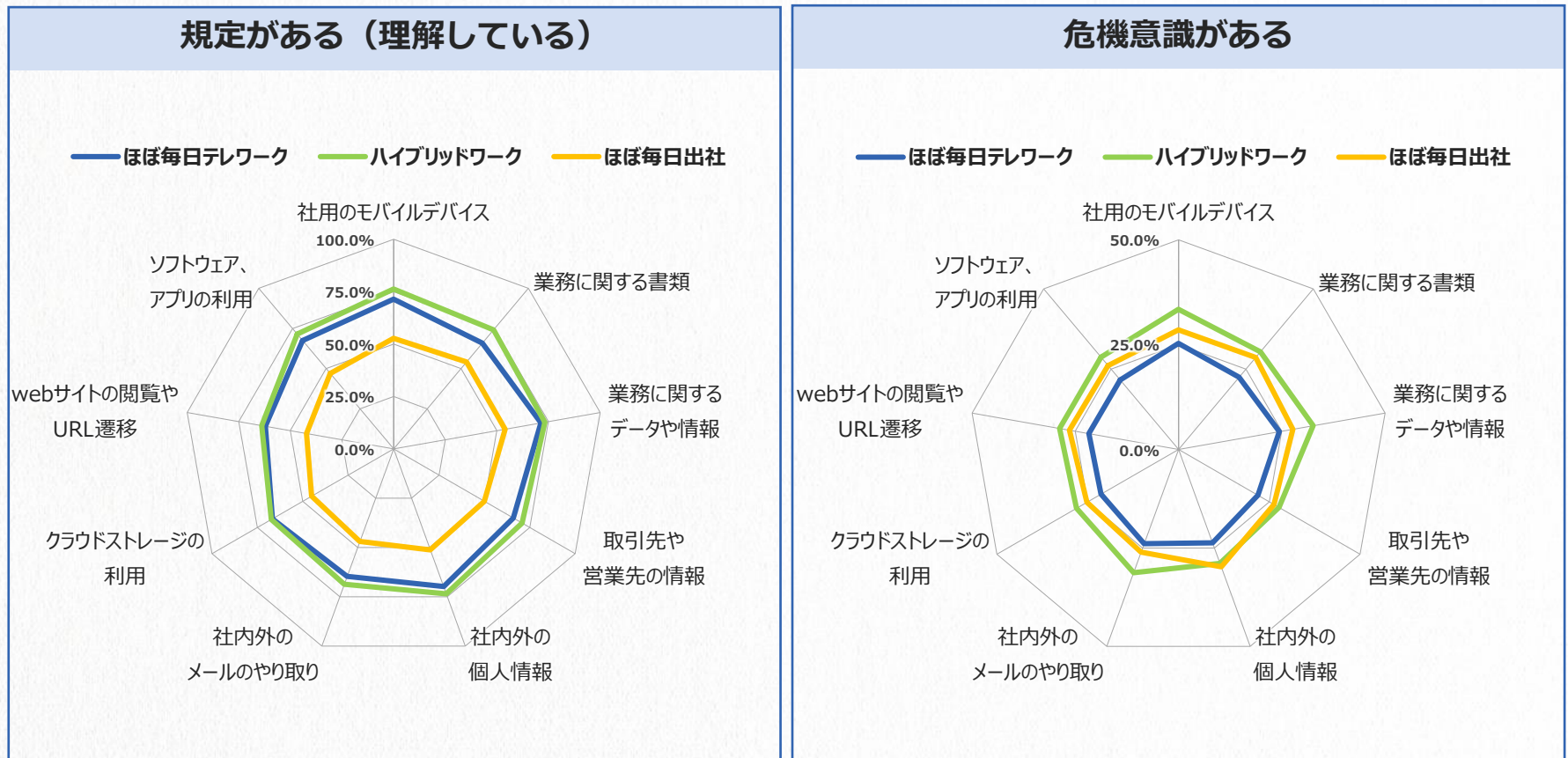
# 【セキュリティ】規定の浸透度・危機意識（一覧）

- 数値別に詳細を比較すると、ハイブリッドワークの層はセキュリティ規定が浸透しており、なおかつ危機意識も高い
- 一方でほぼ毎日テレワークの層では危機意識の低さ、ほぼ毎日出社の層では規定の浸透度の低さがそれぞれ目立つ

セグメント 情報資産	全体 (N=1,660)		ほぼ毎日テレワーク (N=538)		ハイブリッドワーク (N=536)		ほぼ毎日出社 (N=586)	
	規定がある (理解している)	危機意識が ある	規定がある (理解している)	危機意識が ある	規定がある (理解している)	危機意識が ある	規定がある (理解している)	危機意識が ある
社用のモバイルデバイス	66.3%	29.1%	71.4%	25.3%	76.2%	33.4%	52.7%	28.5%
業務に関する書類	64.4%	27.2%	65.9%	22.5%	74.2%	30.4%	54.1%	28.6%
業務に関するデータや情報	65.9%	28.2%	71.3%	24.4%	73.3%	32.6%	54.0%	27.7%
取引先や営業先の情報	61.9%	25.3%	65.9%	21.9%	70.8%	27.7%	50.0%	26.3%
社内外の個人情報	64.5%	27.6%	69.9%	23.7%	73.5%	28.9%	51.2%	29.8%
社内外のメールのやり取り	59.7%	27.1%	64.7%	23.9%	68.7%	31.3%	47.0%	26.1%
クラウドストレージの利用	59.3%	24.9%	66.7%	21.3%	67.3%	28.1%	45.1%	25.2%
webサイトの閲覧や URL遷移	55.7%	25.7%	62.1%	21.7%	63.9%	28.8%	42.2%	26.4%
ソフトウェア、アプリの利用	61.5%	25.5%	67.5%	21.6%	71.5%	28.7%	47.0%	26.1%
セグメント別の傾向			➤ 一定の浸透度はあるが、 危機意識の低さがリスク		➤ <u>セキュリティ浸透度が高く、 なおかつ危機意識も高い</u>		➤ セキュリティ規定の導入や 浸透のレベルが最も低い	

# 【セキュリティ】 規定の浸透度・危機意識（レーダーチャート）

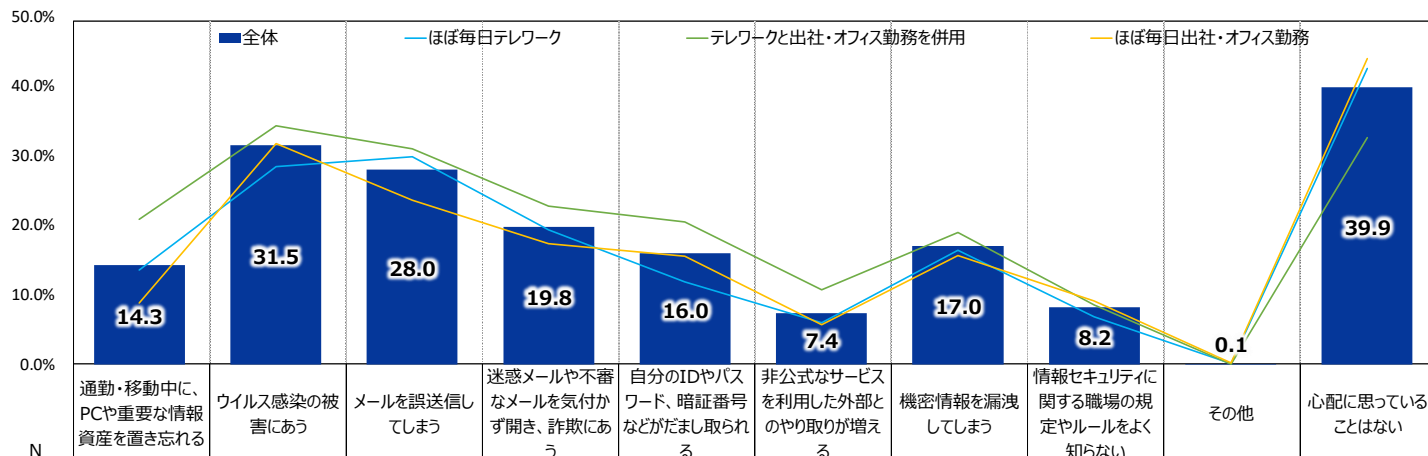
- セキュリティに関する以下の各項目について「規定がある（理解している）」 「危機意識がある」と回答した者について、レーダーチャートでセグメント別に比較した。
- ハイブリッドワーク層は、ほとんどの項目において「規定がある（理解している）」と「危機意識がある」どちらについても3セグメントのうちトップの回答率である。
- ほぼ毎日出社層は、全ての項目において「規定がある（理解している）」の回答率が3セグメントのうち最低である。
- 一方、ほぼ毎日テレワーク層は、全ての項目において「危機意識がある」の回答率が3セグメント中最低となっている。



# 【セキュリティ】心配に思うこと

- 全体で最も多い回答は「心配に思っていることはない」39.9%である。具体的な項目としては「ウイルス感染の被害にあう」31.5%、「メールを誤送信してしまう」28.0%が上位回答となっている。

業務に関わる情報セキュリティについて、心配に思っていることはありますか。あてはまるものを全てお選びください。[MA, FA]



N		全体	ほぼ毎日テレワーク	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	ほぼ毎日出社・オフィス勤務							
働き方	全体	1,660	14.3	31.5	28.0	19.8	16.0	7.4	17.0	8.2	0.1	39.9
	ほぼ毎日テレワーク	538	13.6	28.4	29.9	19.4	11.9	6.0	16.4	6.9	0.1	42.6
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	536	20.9	34.3	31.0	22.8	20.5	10.7	19.0	8.6	0.0	32.6
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	586	8.8	31.8	23.6	17.4	15.6	5.7	15.7	9.1	0.2	44.0
年代	20代	293	14.8	21.6	27.7	18.6	16.2	7.5	19.1	12.7	0.0	40.9
	30代	324	17.5	29.2	25.4	22.6	16.5	11.5	18.4	12.5	0.0	38.3
	40代	403	13.4	31.6	26.4	17.0	15.5	6.9	20.2	8.0	0.0	39.3
	50代	362	14.0	35.9	31.5	21.0	14.9	4.8	16.0	4.0	0.2	39.3
	60代	278	11.4	38.6	29.3	20.3	17.3	6.6	9.6	4.3	0.4	42.2

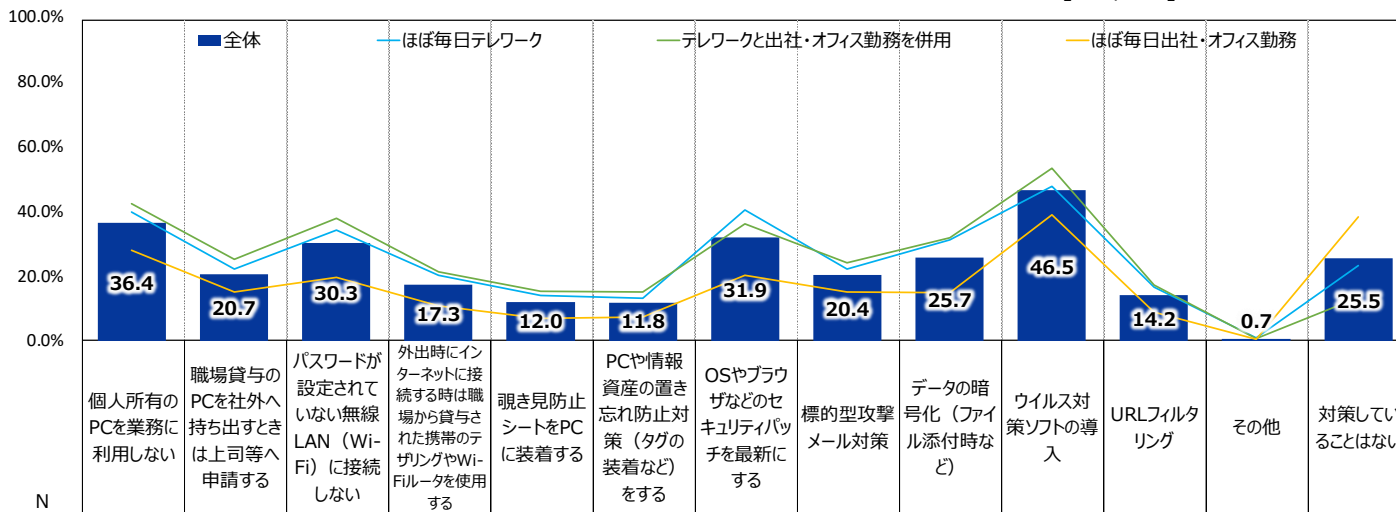
※数表の色付けについて：各セグメントのうち、回答率が最も高いセルを赤、2番目に高いセルを黄色、3番目に高いセルを緑で強調しています。

(単位：%)

# 【セキュリティ】 対策していること

- 全体では「ウイルス対策ソフトの導入」が46.5%で最多の回答率である。以降は「個人所有のPCを業務に利用しない」36.4%、「OSやブラウザなどのセキュリティパッチを最新にする」31.9%が続く。
- いずれのセグメントでも回答率が上位の項目は概ね共通している。しかし各項目の回答率は概ね、テレワークと出社・オフィス勤務を併用> ほぼ毎日テレワーク> ほぼ毎日出社・オフィス勤務の順であり、ハイブリッドワークを実施している層ほど各項目への回答率が高く、セキュリティに幅広く対策しているといえる。

業務に関わる情報セキュリティについて、対策していることはありますか。あてはまるものを全てお選びください。[MA, FA]



	N	対策していること													
		個人所有のPCを業務に利用しない	職場貸与のPCを社外へ持ち出すときは上司等へ申請する	パスワードが設定されていない無線LAN (Wi-Fi) に接続しない	外出時にインターネットに接続する時は職場から貸与された携帯のテザリングやWi-Fiルータを使用する	覗き見防止シートをPCに装着する	PCや情報資産の置き忘れ防止対策 (タグの装着など) をする	OSやブラウザなどのセキュリティパッチを最新にする	標的型攻撃メール対策	データの暗号化 (ファイル添付時など)	ウイルス対策ソフトの導入	URLフィルタリング	その他	対策していない	
全体	1,660	36.4	20.7	30.3	17.3	12.0	11.8	31.9	20.4	25.7	46.5	14.2	0.7	25.5	
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	39.9	22.2	34.3	20.2	14.1	13.3	40.4	22.3	31.3	47.7	16.7	1.0	23.4
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	536	42.3	25.3	37.8	21.4	15.3	15.1	36.1	24.2	31.9	53.4	17.3	0.7	13.4
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	586	28.0	15.2	19.7	10.8	7.0	7.4	20.2	15.1	15.0	39.0	8.9	0.5	38.4
年代	20代	293	26.0	12.4	23.2	13.8	10.8	10.7	17.0	14.8	18.6	26.6	10.4	0.0	36.3
	30代	324	35.6	20.5	31.4	19.9	14.0	15.2	28.2	19.2	20.7	40.4	13.6	0.3	28.0
	40代	403	36.1	22.1	29.8	16.8	10.3	10.6	38.5	20.6	25.7	47.6	15.0	1.5	24.1
	50代	362	45.6	23.5	34.2	18.2	12.7	10.7	38.4	23.3	32.7	57.7	17.8	0.0	19.6
	60代	278	37.0	24.2	31.9	17.6	12.4	12.3	33.7	23.6	30.0	58.2	12.7	1.7	20.6

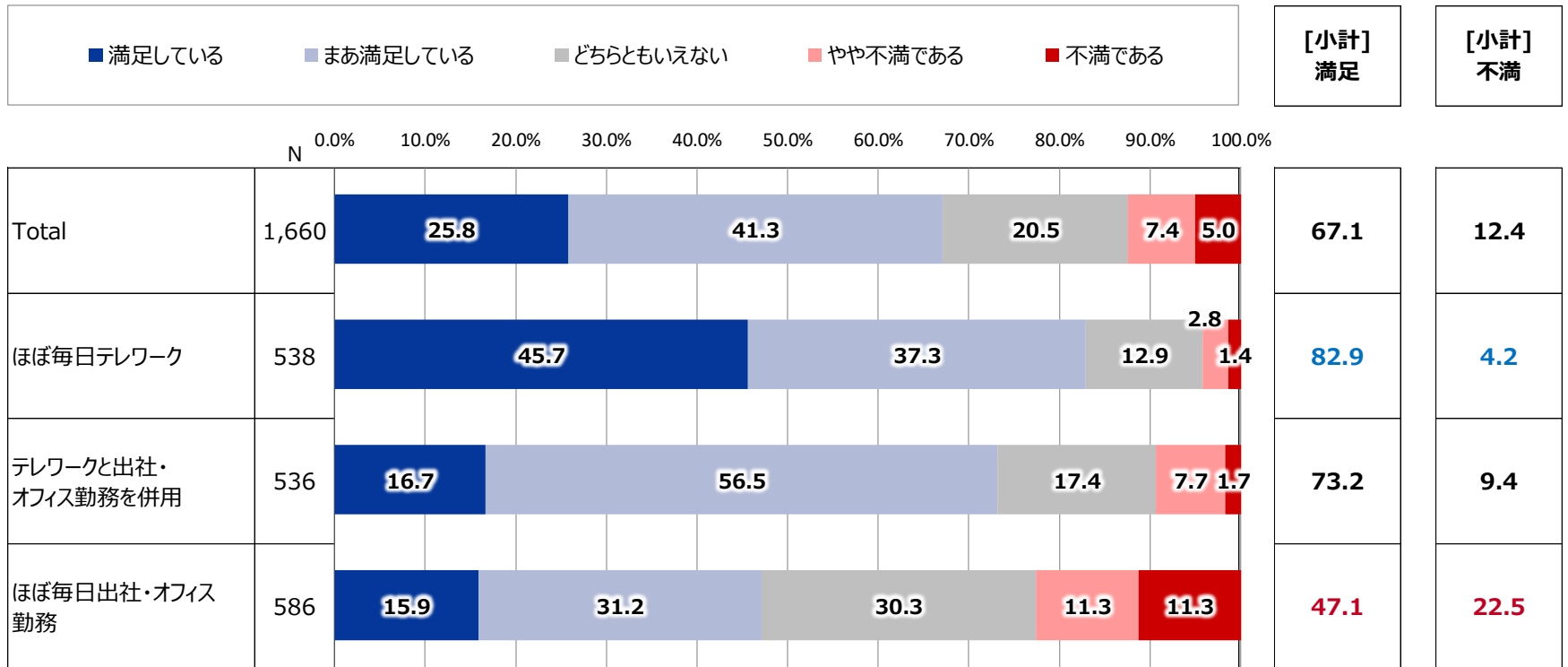
※数表の色付けについて：各セグメントのうち、回答率が最も高いセルを赤、2番目に高いセルを黄色、3番目に高いセルを緑で強調しています。

(単位：%)

# 【ワークライフバランス】現在の働き方への満足度

- 「満足している」の回答率に着目すると、ほぼ毎日テレワークの層が45.7%と他の2セグメントを大きく引き離している。また、同セグメントは「やや不満である」「不満である」の割合も、他のセグメントよりも低い。
- 満足と不満の小計をみると、**ほぼ毎日テレワーク>ハイブリッドワーク>ほぼ毎日入社・オフィス勤務**となっており、**テレワークを実施しているほど働き方に対する満足度が高い。**

あなたは直近の働き方に満足していますか。[SA]



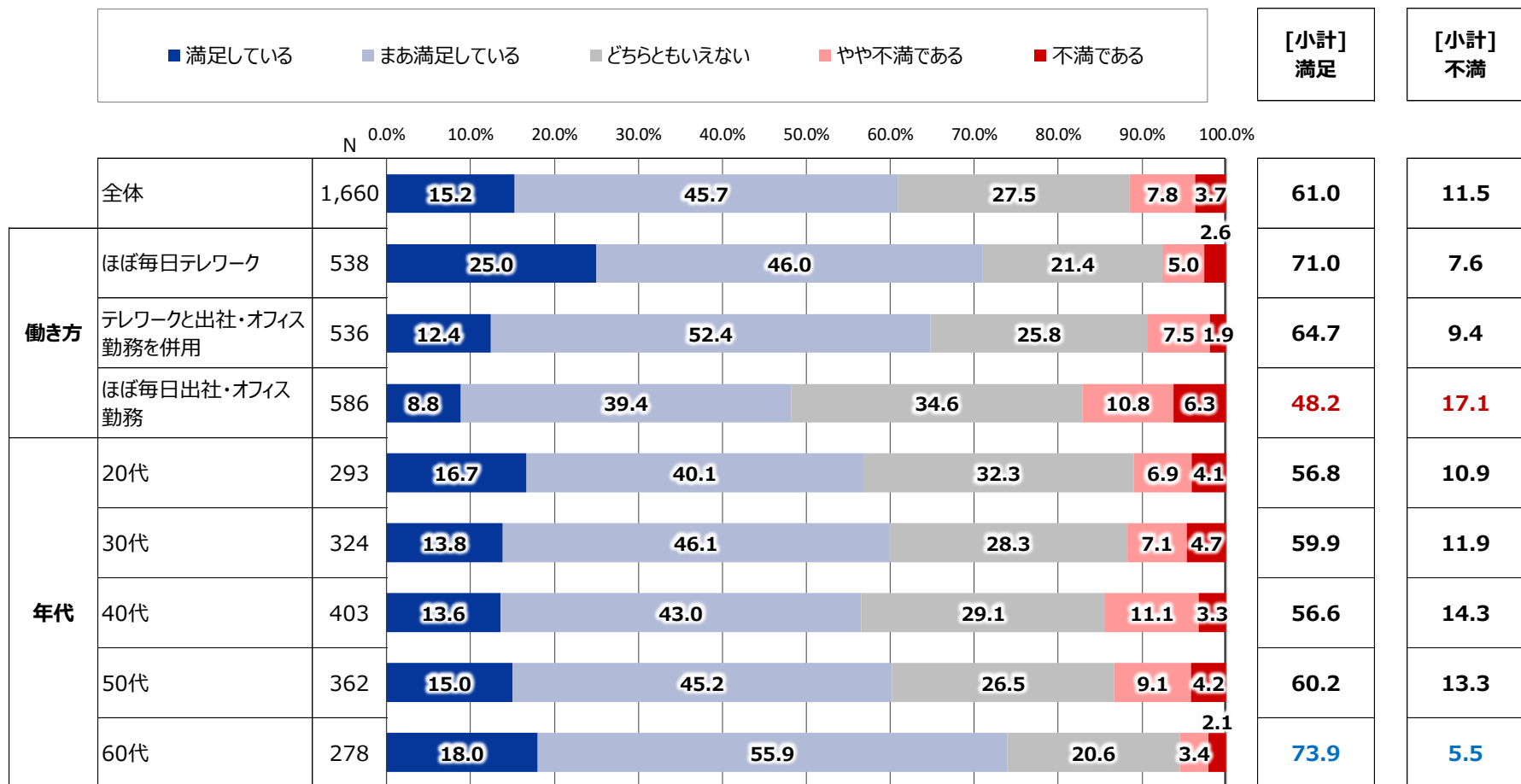
※ 「[小計]満足」は「満足している」「まあ満足している」、「[小計]不満」は「やや不満である」「不満である」をそれぞれ小計した値となります。

(単位：%)

# 【ワークライフバランス】仕事と私生活の両立満足度

- 仕事と私生活の両立に対する満足度は、全体では「まあ満足している」が45.7%で最多となり、小計でも「満足」が61.0%となっている。
- 働き方のセグメント別の「満足」の小計をみると、ほぼ毎日テレワーク> テレワークと出社・オフィス勤務を併用> ほぼ毎日出社・オフィス勤務 の順となっており、テレワークを実施しているほど仕事と私生活の両立に対する満足度が高い。

あなたは現在のワークライフバランス（仕事と私生活の両立）に満足していますか。[SA]



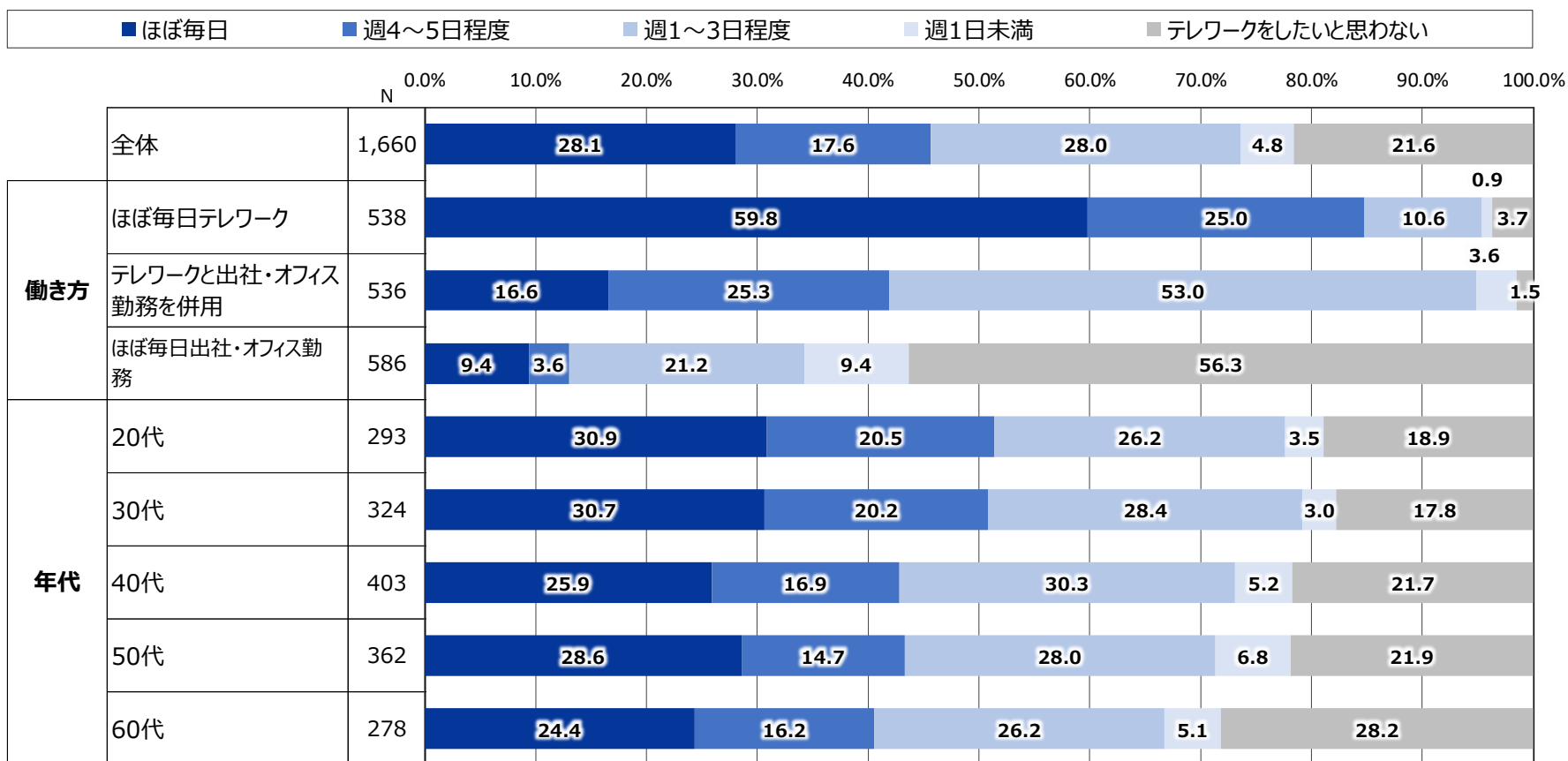
※ 「[小計]満足」は「満足している」「まあ満足している」、「[小計]不満」は「やや不満である」「不満である」をそれぞれ小計した値となります。

(単位：%)

# 【ワークライフバランス】希望するテレワーク頻度

- 希望するテレワーク頻度では、働き方のセグメントによる差が非常に大きい。
- 「ほぼ毎日テレワーク」は、約6割が現状の「ほぼ毎日」を希望している。「週4～5日」25.0%、「週1～3日」10.6%と続く。
- 「ハイブリッドワーク」の層は「週1～3日程度」53.0%が最多である。「ほぼ毎日」は16.6%、「テレワークをしたいと思います」とは1.5%にとどまる。「ほぼ毎日出社・オフィス勤務」層は「テレワークをしたいと思います」が56.3%で圧倒的である。しかし、4割超はテレワークに対する希望があるものといえる。

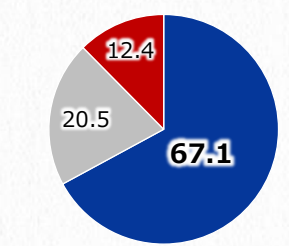
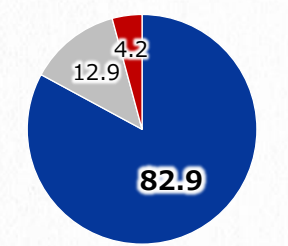
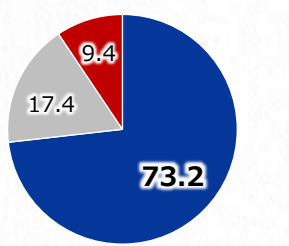
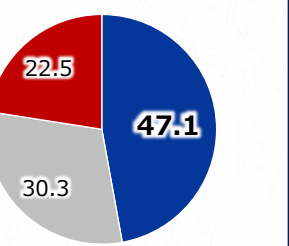
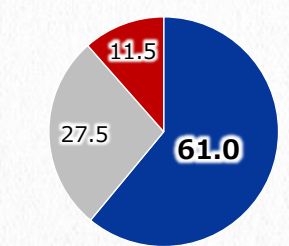
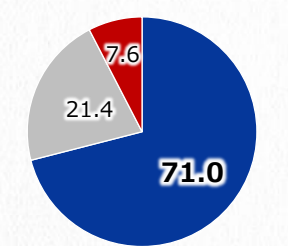
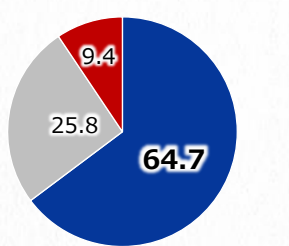
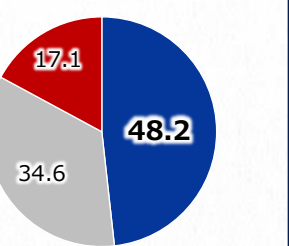
あなたはどのぐらいの頻度でテレワーク（リモートワーク・在宅勤務を含む）をしたいと思いますか。最もあてはまるものをお選びください。[SA]



(単位：%)

# 【ワークライフバランス】満足度（一覧）

- 働き方・仕事と私生活の両立満足度は、ほぼ毎日テレワーク>ハイブリッドワーク>ほぼ毎日出社 の順に高い
- 働き方に対する満足度と、仕事と私生活の両立に対する満足度は連動している傾向がみられる
- 一方で、働き方別に希望するテレワーク頻度をみると、いずれのセグメントでも現状の働き方の回答率が最多（単位：%）

設問	セグメント	全体 (N=1,660)	ほぼ毎日テレワーク (N=538)	ハイブリッドワーク (N=536)	ほぼ毎日出社 (N=586)
現在の働き方への満足度		 <p>■ 満足 67.1% ■ どちらともいえない 20.5% ■ 不満 12.4%</p>	 <p>■ 満足 82.9% ■ どちらともいえない 12.9% ■ 不満 4.2%</p>	 <p>■ 満足 73.2% ■ どちらともいえない 17.4% ■ 不満 9.4%</p>	 <p>■ 満足 47.1% ■ どちらともいえない 30.3% ■ 不満 22.5%</p>
	仕事と私生活の両立満足度	 <p>■ 満足 61.0% ■ どちらともいえない 27.5% ■ 不満 11.5%</p>	 <p>■ 満足 71.0% ■ どちらともいえない 21.4% ■ 不満 7.6%</p>	 <p>■ 満足 64.7% ■ どちらともいえない 25.8% ■ 不満 9.4%</p>	 <p>■ 満足 48.2% ■ どちらともいえない 34.6% ■ 不満 17.1%</p>
希望するテレワーク頻度	ほぼ毎日	28.1	59.8	16.6	9.4
	週4~5日程度	17.6	25.0	25.3	3.6
	週1~3日程度	28.0	10.6	53.0	21.2
	週1日未満	4.8	0.9	3.6	9.4
	したいと思わない	21.6	3.7	1.5	56.3



# 【ワークライフバランス】働く条件面での満足度

- 働き方のセグメント別では、多くの項目で「ほぼ毎日テレワーク」層の満足度が3セグメントのなかで最高である。
- 「仕事のやりがい」と「社内の人間関係や雰囲気」では「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」のハイブリッドワーク層の満足度がトップとなっている。
- 「ほぼ毎日出社・オフィス勤務」の層は全般的に満足度が低い。特に「通勤時間」や「勤務場所や勤務時間の自由度」の項目については、「ほぼ毎日テレワーク」層よりも約20ポイント、ハイブリッドワーク層よりも約10ポイント低い。

あなたは現在の勤務先での働き方や条件にどの程度満足していますか。それぞれについてお答えください。[SAMT]

		N	通勤時間	仕事のやりがい	勤務場所や勤務時間の自由度	家事や育児との両立	介護との両立	社内の規定や社風	社内の人間関係や雰囲気
全体		1,660	53.7	45.2	52.1	36.4	17.5	40.1	41.8
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	65.1	46.6	61.0	46.0	21.6	43.6	42.1
	テレワークと出社・オフィス勤務を併用	536	53.1	47.2	53.6	36.8	19.1	40.3	43.6
	ほぼ毎日出社・オフィス勤務	586	43.9	42.0	42.6	27.2	12.3	36.7	39.9
年代	20代	293	48.7	42.5	44.9	32.4	20.1	39.3	42.7
	30代	324	51.0	42.0	48.9	40.8	20.3	39.8	39.1
	40代	403	54.5	44.7	52.4	38.9	16.6	41.1	43.5
	50代	362	56.6	42.3	52.0	34.6	14.6	37.6	39.4
	60代	278	57.5	56.2	63.5	33.9	16.6	43.2	44.8

※設問形式は「満足している」「まあ満足している」「どちらともいえない」「やや不満である」「不満である」から単一選択で、以下のチャートでは「満足している」「まあ満足している」を小計した割合を一覧で示している。

(単位：%)

# 【ワークライフバランス】生活内容別満足度

- 全体で満足度上位には「家で家族と過ごす、家事をする」64.0%、「趣味などプライベートなことをする」60.1%が目立つ。
- 「趣味などプライベートなことをする」「資格取得など自己啓発をする」といったプライベート性の強い項目では「ほぼ毎日テレワーク」の満足度が最も高いが、「適度に体を動かし運動をする」「友人・知人と食事や飲酒をする」など物理的な活動やコミュニケーションを伴うものについては「テレワークと出社・オフィス勤務を併用」の層の満足度が高い傾向がある。
- 「ほぼ毎日出社・オフィス勤務」の層は、他のセグメントと比較して項目を横断して満足度の低さが目立つ。

あなたの現在の仕事と生活のバランスについてお伺いします。以下の項目についてどの程度満足していますか。[SAMT]

		N	家で家族と過ごす、 家事をする	趣味などプライベートな ことをする	資格取得など 自己啓発をする	適度に体を動かし 運動をする	職場の仲間と食事や 飲酒をする	友人・知人と食事や 飲酒をする
全体		1,660	64.0	60.1	35.5	43.6	32.6	34.9
働き方	ほぼ毎日テレワーク	538	68.0	67.1	41.1	44.1	30.5	32.5
	テレワークと出社・ オフィス勤務を併用	536	70.7	64.6	38.9	50.4	34.9	38.2
	ほぼ毎日出社・ オフィス勤務	586	54.4	49.6	27.2	37.0	32.4	34.1
年代	20代	293	67.0	62.8	44.4	47.6	41.9	48.0
	30代	324	62.3	58.2	36.7	41.5	39.0	38.7
	40代	403	59.9	54.7	35.1	40.9	30.4	32.2
	50代	362	61.8	62.2	28.9	42.3	25.0	28.5
	60代	278	71.9	64.6	33.9	47.8	28.7	29.0

※設問形式は「満足している」「まあ満足している」「どちらともいえない」「やや不満である」「不満である」から単一選択で、チャートでは「満足している」「まあ満足している」を小計した割合を一覧で示している。

(単位：%)

# 考察

---

## 考察

### ➤ ほぼ毎日テレワーク層

コミュニケーションの満足度に関して、定例的な会議等の内容別満足度が最も高い。**対面ではないことから、心理的ストレスや移動負荷が少なくなるため満足度が高くなること**が推察される。働き方・ワークライフバランスの満足度も他のセグメントと比較し最も高く、**テレワークが働き方・ワークライフバランスの向上に寄与していること**がうかがえる。

一方で、ほぼ毎日在宅で仕事を行っているためか、セキュリティに対する危機意識は最も低くなっている。

### ➤ ハイブリッドワーク層

コミュニケーションの満足度に関して、対象者別満足度が最も高い。**週数回同僚等と顔を合わせることで適度なコミュニケーションとして良いこと**がうかがえる。セキュリティの規定理解および危機意識も他のセグメントと比較し最も高く、**セキュリティ規定が浸透しており、なおかつ危機意識も高いこと**がうかがえる。

ワークライフバランス満足度は「ほぼ毎日テレワーク層」に劣るものの、**物理的な活動やコミュニケーションを伴う活動においては「ハイブリッドワーク層」の方が高い。**

### ➤ ほぼ毎日出社層

**コミュニケーション満足度、働き方・ワークライフバランス満足度が最も低い。**毎日出社をして同僚等とコミュニケーションをとることが必ずしも満足度につながっていないことがうかがえる。**セキュリティ規定の浸透度も最も低い。**

一方で、物理的にテレワークが不可能な職種の従業員が調査対象者に含まれている可能性が高く、背景について検証する必要がある。

(単位：%)

同じ未来を想うことから。



※本調査結果を引用いただく際は出所の明記をお願いいたします。